

市民の皆様へ

2030年の稲城に向けたご提案を受け付けています！

稲城市では2030年の稲城に向けて、長期総合計画を策定します。
あなたの考える2030年の稲城の将来像について、お聞かせください。

グループ・団体別懇談会を開催します

希望するグループや団体との懇談の席を設け、市職員がお話を伺います。お申し込みください。

対象市内在住・在勤・在学の5人以上のグループ・団体

必要事項①希望日時②開催会場
③代表者住所・氏名④電話番号

申し込み先市役所5階企画政策課窓口、
電話(042-378-2111 内線532)、FAX(042-377-4781)、
メール(chou_kei5@city.inagi.lg.jp)

ホームページからのご提案はこちら

https://www.city.inagi.tokyo.jp/cgi-bin/form_enq/formmail.cgi?d=chouki

個別の返答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



©K.Okawara・Jet Inoue

稲城市ちょっとメモ

「昼間人口」日中に生活している人や通勤・通学して来る人の数。
「夜間人口」住んでいる人。

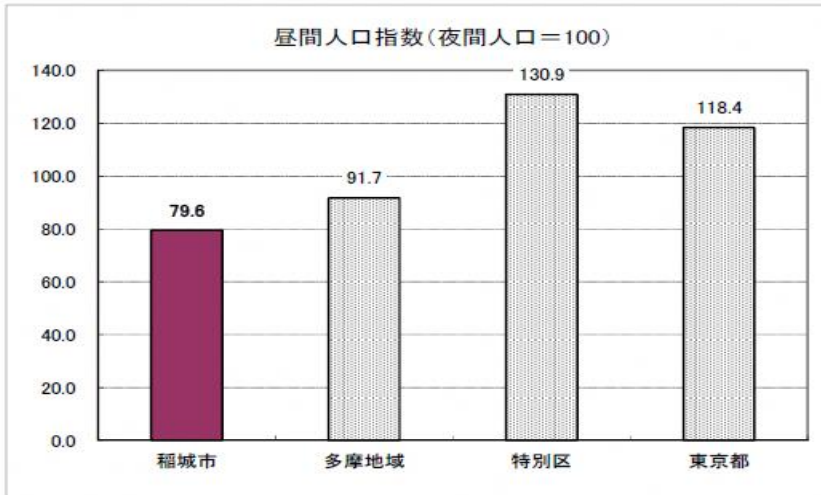
昼間人口指数は、夜間人口を100としたときの、昼間人口の指数です。

住んでいる人に比べ働きに来る人等が多いと100を上回ります。

稲城市や多摩地域の指標は、100以下となっており、他の地域へ通勤・通学している人が多いのがわかります。

『多摩地域データブック 平成29年』

稲城市の昼間人口指数は？



これからの開催予定

第11回 平成31年4月19日(金)

時間：19:00から

※概ね2時間程度を予定しています。

・会場：地域振興プラザ4階 大会議室

・提言書案について確認し、更に討議します。



稲城市

2030年の稲城を描く

発行 稲城市
編集 企画部 企画政策課 長期総合計画担当
〒206-8601 稲城市東長沼2111
☎042-378-2111(代表) 内線532
e-mail chou_kei5@city.inagi.lg.jp

2030年の稲城を描く

No.10

市民会議 3月15日開催

第10回 市民会議を開催しました

3月15日、地域振興プラザにおいて「2030年の稲城を描く市民会議」第10回を開催しました。第9回での討議結果に基づき見直した「市民会議提言書(素案)」について、そのまとめ方、表現の仕方などを全員で話し合いました。第11回市民会議でさらに検討を加え、まとめていく予定です。

2030年の稲城を描く市民会議

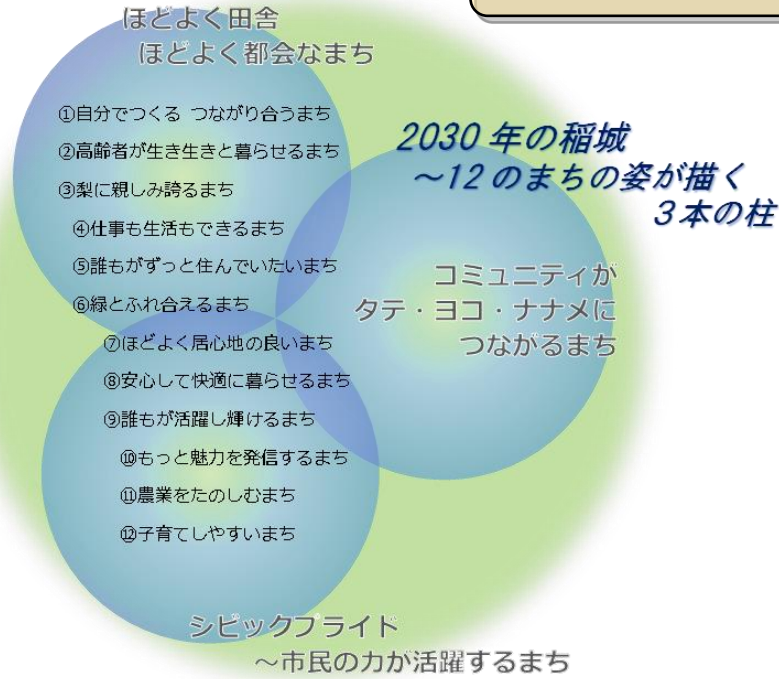


見直した新しい提言書案について意見交換

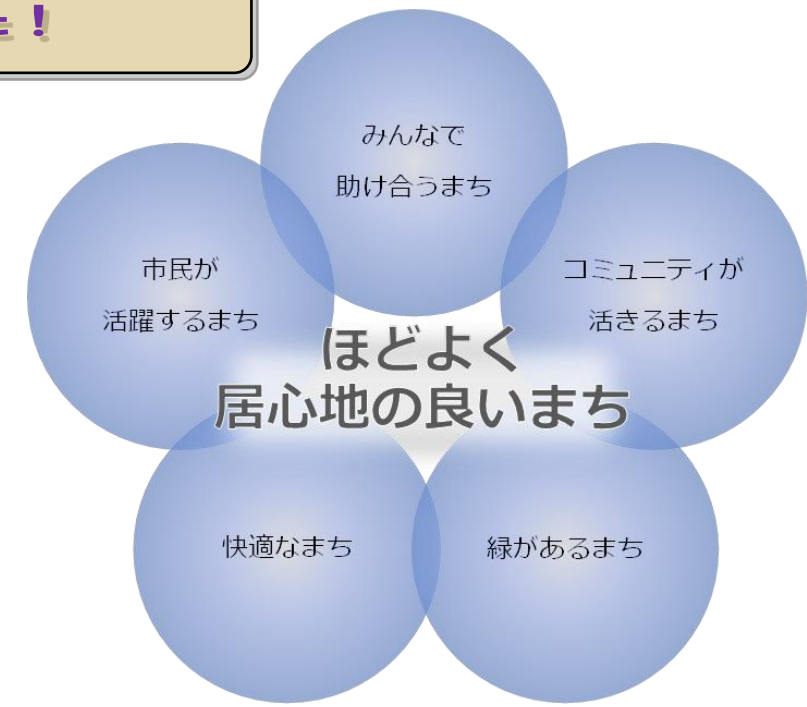
- ◎全体を包含する2つのテーマ、「ほどよく居心地の良いまち」と「誰もがずっと住んでいたいまち」を中心に据え、その他のテーマを一回分解した上で、再編。
- ◎各テーマごとに、重複していた部分を解消。

見直した『提言書案』について討議しました！

前回の提言書案の構成



見直した提言書案の構成



話し合いの方向について~

- 非常に良くまとまっていて、皆さんの意見が入っている。
- 細かいところも書いてあり、とても良くまとめていると思う。だが、意見が十分表現されていないと思う人はそれを出してはどうか。
- 今、困っているところが中心で、10年後の議論はあまり無かったというのが率直なところ。まだ議論が尽くされていないのではないか。
- 何度もグループで話し合い、今はまとまってきている段階、まとめ方を全体で詰めて行く時期ではないか。

提言書の構成、柱建て、テーマについて~

- 今の稲城の現状分析を最初に出してはどうか。ひとつひとつ読むと、現状や課題が入っているが時系列だと分らなくなる。
- 2030年の稲城はこうあるべきだというのを出し、その背景に現状はこうですよというのを次に出す。
- 最初にみんなの意見を抜き出したらこうなりましたというものがドンとあれば、分かりやすい。変に柱とか入れなくても。
- 「市民が活躍する」というのは、市民が主体となって様々な課題を解決していく、そういう枠組みを行政は作ってくださいね、それから柱があって、細かいテーマがあって、こういうことができるというまとめ方になれば良い。
- 12のテーマは違和感がなかったが、「魅力の発信」が市民の活動の中にはいってしまったのが疑問である。

「会議の中で出た意見」のまとめ方について~

- 前回のまとめ方は、こんなまちになったらという希望が見えて最高だと思った。内容が重複していても全部ニュアンスが違っていた。今回のようにまとめてしまうのではなく、項目を分かりやすく整理してほしい。
- 今回のように文章で書いてあると、ずっと読めるけれども、印象に残りにくい。前回のように箇条書きになっていると、パッパッと頭に入ってくるから、そうだよねと思う。

「ほどよく居心地の良いまち」について~

- 「ほどよく居心地の良いまち」は現状分析である。2030年はどうありたいかということが分からない。
- ほどよい稲城は、今現在そういう状況にあり、なおかつ、将来もそうあって欲しいという理解で良いのではないか。
- 今の良い状態の稲城がこのまま10年後にも続いていくためにはどうすればよいのかという視点があった。もっとこうしたいという部分を加えれば良いと思う。
- ほどよく都会、ほどよく田舎、ほどよい規模、ほどよいコミュニティとか、ほどよいという言葉がキーワードというのはすごく分かるが、「ほどよく居心地の良いまち」とまとめられると、ちょっと違うと思う。

「シビックプライド」について~

- 今回、シビックプライドがどこに出てくるのか疑問に思った。全てのテーマに関わる、全体を包含する概念として打ち出した方が良いと思う。
- シビックプライドという言葉が日本語で表現できないか。違和感がある。シビックプライドという新しい言葉で煙に巻いてはいけないと思う。
- シビックプライドという言葉を使うのは良いと思う。ぐっとくるような言葉がないと、みんなそこに向かっていかないと思う。
- シビックプライドを出して、かつ日本語でパッと分かる解説が最初に来た方が分かりやすい。
- 10年後にはもっとポピュラーな言葉になるのではないか。
- 2030年になったら、シビックプライドが当たり前の時代になっていると思う。
- シビックプライドを説明するために長々とした言葉でなくて、パッと分かるような言葉に置き換えなければ浸透しない。だからしっかりした説明文がつかなくても良いと思う。置き換える言葉が2つ3つくらいならば、受け入れられると思う。
- シビックプライドは地域愛、郷土愛でまとめられない大きなところがあるので、長い文章になっても、欄外でも良いので説明し、それこそ最先端をいく稲城市だなど全員が分かるようにしたい。

「観光を推進するまち」について~

- 「観光を推進するまち」という項目が追加されているが、観光は要らないと全く逆の意見も出ていたので、ちょっと違うと思う。
- 東京オリンピックが開催され、稲城市も自転車のまちということで色々やっている訳であるから、そういう特色的なところは入れた方が良い。
- 世の中一般でいうところの観光というほどの観光は、稲城市にはないと思う。
- 市民の人達が、シビックプライドをもって、市をこんなに好きで、稲城に暮らしていることを発信していれば、周りの地域の人たちに羨ましがられるような市になれると思っている。観光の発信をわざわざしなくても、個人個人が発信し、稲城らしさをアピールしていけば良い。
- 観光という言葉を使うことは置いておいて、PRという点では残しても良いかなと思う。

「これまでの話し合いで足りなかった点」について~

- 児童虐待のないまちとか、子どもの心と命を守るまちというのを、どこかに、言葉ではなくても、しっかり盛り込んでおきたい。
- 低所得者あるいは障害者、外国人など社会的弱者、こういったものがまったくない。
- シビックプライドの視点は、社会的弱者等も、みんなで自然に助け合う気持ちが生まれてくる、そういった人達を育てていくことも目指していると思う。
- 地域防災や安全面に関して載せられると良い。
- 交通の利便性を検討したかった。平尾は坂道で、障害者や高齢者等が多く、日々の暮らしに不自由している。だから、2030年に向けて、交通のことについて、もっと具体的なことを検討したかった。